

へいじろ 3ろ







HEIJIRŌ

2025 冬
令和7年2月15日
第72号



回復期リハ病棟患者様 共同作品
今年の干支“巳”

もくじ

-  P1…高尾院長の講話より
-  P2…市民公開講座『人類と感染症の歴史から学ぶ』
-  P3～P4…糖尿病内科久保先生より『糖尿病』について
-  P5…リハビリテーション室より体操の紹介
-  P6…新入職員紹介／島田先生の短歌紹介
-  P7…市政の窓へ掲載

種子島医療センター HP



高尾院長の講話より 坂の上の病院

「まことに小さな病院が開花期を迎えようとしている。」司馬遼太郎だとう言うだろうか・・・。

私は、種子島へ入港する高速船から見上げる小高い丘に立つ白い病院の姿が好きである。坂を登り切った処、斜めの坂の上に椰子の木と白い建物、種子島の澄み切った青い空の中に浮かぶ、まことに絵になる佇まいである。

決して大きな病院ではなく、今風の病院建築でもなく、かといって昭和風の古めかしい建物でもない、種子島の自然に溶け込んだ病院としか言葉が浮かばない。

正面玄関を入れれば、混雑した外来がいつもの風景である。救急車が来れば、待たされている患者たちをかき分けて、と言うか、自然に導線が救急室へと開かれるのである。患者たちも心得ている。

この病院は、人口3万人足らずの離島の医療を50年間担ってきた。そして、これからも担おうとしている。

グーグルには心ない悪評も見られ、職員たちを歯ぎしりさせる。仕事に追われ、ただ懸命に患者たちをケアしようとする彼等には、誠に可哀相なことなのだが、ちょっとした対応を責められる。

勿論、褒めてくれる投書もあるのだが、数が少ないのが残念である。医療者の宿命と言えばそれまでだが、彼等の使命感が挫けないことを祈るばかりである。

が、その使命感を奮い立たせるのも患者からの言葉なのである。

「元氣になりました。ありがとうございます！」

坂の上の病院は今日も黙々と働いている。

余談だが、病院の創始者である田上容正医師は穏やかな人物で、書を読み、筆の達人、短歌を詠み、合唱団で歌う。ボーリングやゴルフもかなりの腕前で知られ、麻雀も楽しむ。患者は物腰が穏やかで人生に精通している医師と接することを好む。病院が今日まで続いてきたことは、彼の手柄に負うところが大きい。

高尾院長の講話より

令和七年の選択、そして希望

皆さん、あけましておめでとうございます。

初めに、インフルエンザ・コロナの大流行が直撃する中、年末年始に勤務をされた職員の方々には厚く御礼申し上げます。

さて、今年は昨年と違って穏やかな元旦を迎えることができたようです。

しかしながら、世界そして日本の社会は、さらに流動的となり、予想がつかない出来事あるいは不条理なことが起きる漠然とした不安に覆われているようです。

ウクライナやパレスチナの恐怖の連鎖が世界を力オス化し、日本でも様々な殺傷事件が発生し、解決に向けた選択に希望がみい出せない時代です。辛い思いをしている人達の立場に思いを馳せるしかない日々が続いています。

それでも、離島・種子島では令和七年も普通の日々が始まっています。

が、ゆつくりとすべては変わりゆくのです。今が絶対ではなく、あなたの選択が未来を、自分を変えるかも知れません。ただ、変わらないのは、あなたの医療に対する信念であり、希望なのです。

私たちの中には、人生の分岐点が迫っている仲間もいることでしょう。

人生の分岐点に立った時、勇気を持って、希望に続く道を選択しましょう。

そして、傷ついている誰かがいたら手を差し延べましょう。

皆さんの知恵と能力が誰かの命を守り、誰かの生きる力を守り、人々をつなぐ架け橋となるでしょう。

種子島のためにも、私たちの医療が令和七年の希望であり続けたいのです。

忘れないで欲しい。あなたの勇気ある選択こそが「希望」に導くことを。

皆さんにとって、令和七年が希望輝く年となりますように！

種子島医療センター公開講座 『人類と感染症の歴史から学ぶ』 が開催されました

本格的な冬が到来し感染症のシーズンを迎えました。全国的にインフルエンザが流行し、新型コロナウイルス新規感染者も増加傾向となっています。種子島医療センターでは、身近な感染症について知ってもらい、正しく対処し予防していただくため、12月15日(日)に西之表市市民会館で公開講座「人類と感染症の歴史から学ぶ」を開催しました。寒い中、足を運んでくださった皆さま、ありがとうございました。



社会福祉法人 種子島医療センター 公開講座
「人類と感染症の歴史から学ぶ」
～ 感染対策の今とこれから ～
講師 種子島医療センター 小児科 塩川 直宏 先生
日時 令和6年 12月15日(日) (受付: 9時30分～) 10:00分～11時30分
参加費 無料 定員 60名
場所 西之表市市民会館 3階 301会議室
※WEB (Zoom) で同時開催
申し込みは、QRコードもしくは 22-9601 へお電話ください。
申し込み締切 12月10日(火) 申し込みフォーム
主催: 西之表市 中種子町 種子島町 種子島医療センター
【お問い合わせ先】 TEL: 22-9601 総務課 事務係



新型コロナウイルスが猛威を振るったこの数年間、私たちは自主規制を強いられ、暮らし方や働き方といった価値観が変わるなどの大きな影響を受けました。人類は、紀元前のはるか昔から感染症と戦い続けてきました。その過程で少しずつ予防の観念が生まれ、薬の開発が進み、克服し共存してきたという歴史があります。そもそも感染症とはどういうものか、当院の小児科医長である塩川直宏先生が講師を務め、人類との戦いの歴史を紹介し、これからの感染症の対策についてわかりやすく解説。参加者の皆さんは興味深い内容に聞き入っていました。



塩川先生

当院では感染制御部を設置し、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などの多職種がチームとなり感染管理を行っています。今回、ICT(感染制御チーム)のメンバーである感染管理認定看護師の下江理沙さん、安田英佳さん、薬剤師の濱口匠さんも参加し、講座の冒頭、濱口さんから当院で実施している感染対策について説明させていただきました。



濱口さん



下江さん

休憩を挟んで行われた質疑応答では、参加者の皆さんからワクチンに対する不安など、さまざまな質問を受けました。ワクチンや感染対策に対する誤解もありましたが、今もこれからも感染対策の基本は、

- 「手洗い」
 - 「マスク(咳エチケット)」
 - 「ワクチン」
 - 「体調管理」
- を続けていくことであり、この当たり前のことが高度な対策であることだと締めくくりました。



糖尿病内科 久保 智 先生より

糖尿病と間欠スキャン式持続血糖測定器 についてです

糖尿病とは？

血糖値（血液中に含まれるブドウ糖）が慢性的に高くなる病気のことです。現在、患者数が日本だけではなく世界中で増加しております。

特に問題になるのが、合併症になります。合併症としては、細小血管合併症の神経、網膜症、腎症。頭文字をとって、“しめじ”で覚えましょう。大血管合併症としては、壊疽（足の切断）、脳卒中、虚血性心疾患があります。頭文字をとって、“えのき”で覚えます。最近では、歯周病や脂肪肝、骨粗鬆症等も合併症に挙げられております。

治療法について

食事療法、運動療法、薬物療法となります。



3つの治療法



その治療をささえる血糖測定器も進歩しております。今回は、間欠スキャン式持続血糖測定器についての説明です。

まず、現時点では対象となるのは、基本的には毎日インスリンを使用している患者様になっております。当院ではアボット社のフリースタイルリブレ、去年の12月よりリブレ2を導入しております。500円玉の大きさのセンサーを14日に1回交換します。また、防水機能があり入浴や運動も可能です。

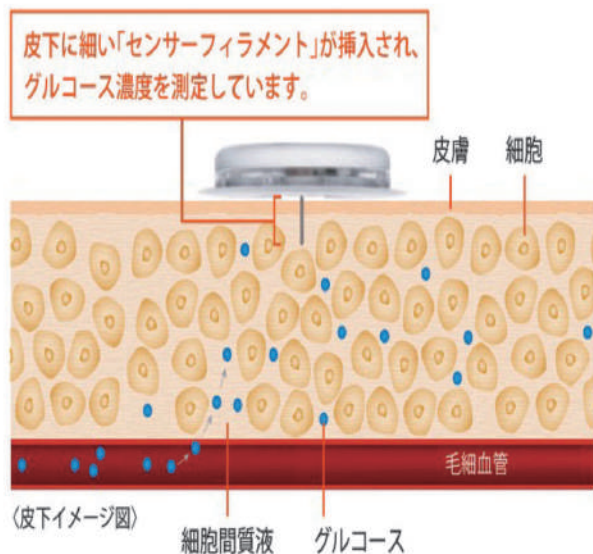
間欠スキャン式持続血糖測定器とは？

血糖測定器との違いは、血糖値ではなく細胞を浸す液体である間質液に含まれる糖を測定しております。これを機械で補正して血糖値として表示しております。

血糖値を測定する訳ではないので指に針を刺す必要がないため痛みが全くなく、服の上からでも何度でも血糖値を測ることができます。表示されるのは現在の血糖値（数値）と過去8時間の血糖値の変化をグラフでみるができます。また測定をしたときに、矢印が表現されるので、上向きで血糖が上昇、下向きで血糖が下降していることが分かるようになります。また、リブレ2になってからは、低血糖と高血糖アラートを使用できるようになりました。これにより、血糖異常に早めに気づくことができます。ようになり、患者様からも好評を得ております。

また、アプリをダウンロードすることによってスマートフォンで測定することができ、測定器を持ち歩かなくても測定できるようになりました。

FreeStyleリブレのセンサーは、細胞間質液中のグルコース濃度を測定します。



●FreeStyleリブレは間質液中のグルコース濃度を血糖値に換算しています。間質液と毛細管血との生理学的な違いにより、グルコース値に差が生じる場合があります。

●以下のような場合、血糖自己測定器を併用してください¹⁾。

- ・センサーにより得られた低血糖または低血糖の可能性について確認する場合。
- ・センサーの測定結果と一致しない症状がある場合、または測定値の正確性に疑問がある場合。

FreeStyleリブレ

NEW

選べるアラート機能
「低グルコース値アラート」
「高グルコース値アラート」
「受信圏外アラート」の
オン/オフが選択できます。

現在のグルコース値
現在のグルコース値を
確認できます。

グルコース値トレンド矢印
グルコース値が推移する方向と
速さを示します。

グルコースグラフ
過去8時間分のグルコース値と
目標範囲をグラフで示します。

ホームボタン

The image shows the FreeStyle Libre 2 device and its components. On the left, there is a yellow 'NEW' badge and an icon of a person with an exclamation mark. Below it, text describes the customizable alert features. The main device is shown in the center, displaying a large '112 mg/dL' reading with an upward arrow. Below the reading is a line graph showing glucose trends over 8 hours. On the right, callouts describe the current glucose value, the trend arrow, the graph, and the home button. At the bottom left, the sensor filament and its circular adhesive patch are shown.

上記画像はアボットジャパン合同会社より提供（一部改訂）



リハビリテーション室より 口腔顔面運動の紹介



お口や舌の運動動きをスムーズにする運動

⇒口の機能の維持・向上効果があります。
各運動10秒間10回ずつ行いましょう！



① 開口
「あ」と大きく口を空
けましょう



② 舌出し
口を開けベロを
出しましょう



③ 舌左右運動
口を開けベロを左右方向に動
かしましょう



④ 頬の運動
ほっぺたを膨らませる⇒
へこませるを繰り返しましょう

新入職員紹介



わたなべ しょうじ
脳神経外科医師の渡邊 章二です
出身地:福岡県
趣味:テニス(その他スポーツなんでも)
映画鑑賞、漫画を読むこと
釣りとゴルフを始めたいです!



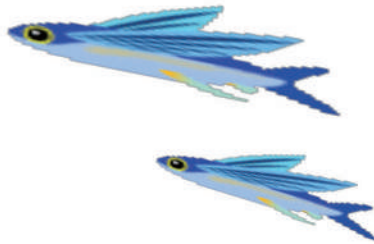
はしもと いくみ
クラークの橋本 郁美です
出身地:宮崎県日向市
趣味:読書や漫画
種子島はずっと住みたいと思
っていた場所です。
島の隅々を周ってお散歩して
みたいです!



いしがみ かずこ
看護師の石上 香寿子です
出身地:兵庫県淡路島
趣味:食べ歩き
ドライブとサーフィンをやってみ
たいです!



やまぐち さとみ
クラークの山口 聡美です
出身地:鹿児島県鹿児島市
趣味:スマホで動画視聴
種子島で子どもの成長を見
守っていきたいと思います。



たけのうち まみ
医事科の竹之内 麻良です
出身地:西之表市
趣味:ジグソーパズル
住み慣れた土地で楽しみなが
ら頑張りたいです。



島田先生の 短歌紹介

門倉の岬はポルトガルへと続く
すべてて行きたし無縫の海を

昼寝から目覚めし時の充足感
昼寝がしたく昼飯を食ふ

呼吸すれば胸に鳴る音と風流な
患者ありけり丁寧に診る



誤嚥性肺炎とは…
食べ物や唾液が気道に入ること
誤嚥(ごえん)が原因

主に口の中の細菌が肺に入り込んで起こる肺炎

口腔ケアと肺炎予防ワクチンの接種で
自分を守ろう!
高齢者の肺炎7割が誤嚥性肺炎!!

今年は西南西!

口腔ケア 食形態の調整 予防接種

ご自身やご家族で予防に努めましょう!

社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身
TEL: 0570-09-0960

謹賀新年
本年も島民の皆さんの健康を守ります
種子島医療センターの職員一同 よろしくお祈り致します

見逃さないで!
脳卒中の症状

種子島医療センターは日本脳卒中学会認定の一次脳卒中センターです。

頭の片側が下がり
ゆがみがある
片腕に
力が入らない
言葉が出てこない
ろれつがまわらない

症状に気づいたら一刻も早く救急車を!

社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身
TEL: 0570-09-0960

公開講座のお知らせ
12月15日(日)10:00~11:30
西之表市民会館でお待ちしております!
オンライン(Zoom)も可。

こちらは
終了しました

申し込みはこちらから!

ワクチン接種 手洗い マスク(咳エチケット) 十分な睡眠

かからない! うつさない!
みんなで予防!
~冬場の新型コロナ・インフルエンザの流行に向けて~

感染対策へのご協力をお願いします。

社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身
TEL: 0570-09-0960

市政の窓にも
掲載しています!
ぜひ、ご覧ください!

タメになんろーな
見らんばやろー